

地方
小出版

情報誌

アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

近江学研究所の挑戦

成安造形大学附属近江学研究所が研究紀要『近江学』を発行
地域に開かれた研究所のあり方、21世紀へ向けた研究を模索する！

文・加藤 賢治

1. 近江学研究所を設置する成安造形大学の取り組み

成安造形大学は滋賀県内唯一の芸術大学として平成5年(1993)に大津市仰木の里に開学。開学当初はデザイン科と造形美術科の2学科を設置する小さな芸術大学としてスタートした。そして「芸術による社会への貢献」を教育理念に学内の教育研究活動が地域に貢献できるように取り組みを続けてきた。

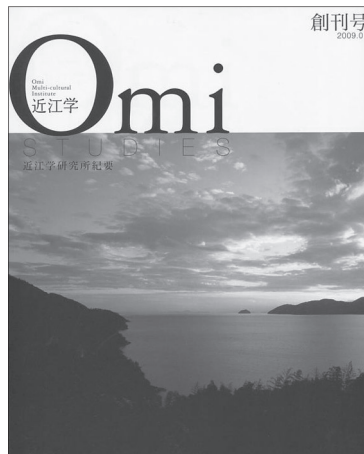
それらの一環として平成20年4月、近江(滋賀県)にある歴史的文化資源を掘り起こし、それらを21世紀のものづくりにつなげること、また公開講座や親しみやすい研究紀要の発刊など、より地域に根付いた活動を積極的に展開することを目的に附属近江学研究所が設置された。

また、平成22年度からは2学科を1学科に再編し、デザインとアートの垣根を越え学生たちが横断的に幅広く学ぶことができる新カリキュラムを構築し、それらの教育研究活動を地域に還元し貢献できるシステムを構築するために地域連携推進センターを設置した。

この二つの機関の設置と新しい教育システムの構築を契機に成安造形大学は地域の豊かな素材を教育と研究に活かし、今までより積極的に地域貢献を実践するという取り組みを進めている。

2. 近江学研究所の理念と活動

成安造形大学が位置する滋賀県(近江)は、中央に琵琶湖がそしてそれを囲むように美しい山々が連なるというすばらしい自然景観に恵まれている。そして、西側に霊峰比叡山や古都京都が位置し、地形的には東日本と西日本を結ぶ交通の要



衝にあたる。そのため滋賀県には指定文化財はもちろん、芸術・歴史・思想・民俗・自然・環境の各分野において、かけがえない豊かな文化資源が今に残されている。

近江学研究所はこれら近江という地域が持つ固有の風土を改めて検証する研究所である。個を深く掘り下げることで、幅広く多くの人たちが共感する普遍的な「美」を発見することがあるが、近江という地域が持つ固有性を多様な視点で深く検証することによって、21世紀の社会に活かすことができる普遍的な価値観を見いだせるのではないかと考えている。

そして、21世紀のものづくりに取り組んでいる学生たちにそれらを提供していくため、今に残された歴史文化の現場に出かけるフィールドワークなど新たな教育プログラムを構築している。

また、それらの研究成果を広く発信し社会に貢献するため、一般社会人対象に公開する公開講座の開催や生涯学習の

一環として会員制のフォーラム『近江学フォーラム』を結成し、より内容の濃い会員限定講座の開催、現地へ出向いての現地研修会、会員相互の懇親会などの事業を行っている。

3. 研究紀要「近江学」の発刊

様々な研究成果を記録蓄積し、より広く発信することを目的に平成21年1月、研究紀要「近江学」創刊号を発刊した。これは一般の研究所や大学が発行する研究紀要とは少し異なり、研究論文の他に写真やイラストを多く挿入しわかりやすく解説したフィールドワークの実地調査報告や作家を対象とした対談などが掲載されている。

中心となる研究論文は、日常開催している公開講座や近江学フォーラム会員限定講座の担当で、近江をフィールドとして第一線で活躍する研究者がそれぞれ執筆し、その内容は近江学概論・美術・歴史・民俗・宗教・自然など多岐にわたる。

紀要の編集は当研究所の研究員が担当し、デザインは編集長とともに本学のデザインの専門教員が取り組み、一般の研究紀要には見られない斬新な編集となっている。また、出版は地域に根付いた取り組みを長く続けられ成果をあげられている彦根市のサンライズ出版株式会社に依頼し、販路を地元中心としながら全国へと広げていただいている。

この研究紀要が幅広い読者を獲得し、近江の魅力を先ず地域の方に知っていただき、そして全国へと拡大し滋賀県のブランドづくりの一助になればと夢を膨らませている。平成21年12月には第二号が発刊され、平成22年度も第三号の発刊に向け編集作業がスタートしている。

4. 近江学研究所の可能性

設立3年目を迎える当研究所は今年度から独自の研究活動をスタートさせた。「未来につながる研究、21世紀の社会

に貢献できる研究」をスローガンとして近江学研究プロジェクト「里山〜水と暮らし」研究を開始した。この研究は成安造形大学芸術学部の科目「プロジェクト演習」として学生とともに調査・研究するものである。

成安造形大学は比叡山北方の横川（よかわ）地区の麓大津市仰木（おおぎ）に位置し、その開村譚は奈良時代にさかのぼる。研究所では先ず膝元である「仰木」という地域を詳しく調査するところからはじめることにした。仰木地区は西南に比叡山、東に交通の要衝である琵琶湖を臨む位置にあり、多くの伝承がこの地に残されている。また、山門領として平安

期から栄え、農耕文化がその根底に流れ、現在は棚田の景観が「里山」という言葉とともに全国的にも知られる存在となっている。

この研究は仰木地区を「水の共同体（コミュニティ）」としてとらえ、里山の空間構成、景観と生活文化を調査しながら、農耕と暮らしの源である水の流れをたどることからはじめる。山から棚田、琵琶湖までの水系をたどるフィールドワークを中心としながら地域の民俗調査を行い、水を中心とする村落社会や信仰との関わりなど重点的に調査する。

学生たちは、この研究の中で人と自然の有機的な関係を通じて命の営みを学

び、自らの造形表現（ものづくり）を振り返って見つめ直し、新しい表現の可能性を見いだすことを目的とする。

この研究は短い時間で完結するものではないが、大量生産・大量消費を善とした20世紀の価値観からはなれ、21世紀の持続可能な社会の実現を目指し、新たな価値観を創造したいと考えている。

この研究が一つの評価を受け社会貢献に繋がることを夢に見ながら近江学研究所の壮大なる挑戦はまさに今始まったのである。

(かとう けんじ／成安造形大学 地域連携推進センター主査 附属近江学研究所研究員)

新刊ダイジェスト

※価格は総額（税込）表示です。

『江戸東京千年の土魂を探る』 ●橘 健一著



江戸という都市は、ヨシの茂る沼沢地に忽然と現れたかのように見える。だがそこには遠く有史以来の、武蔵野の大地と人びとが織りなしてきた壮大なドラマがあることを忘れてはならない。そのようにして紡がれていく生命は土に宿る魂であり、著者はそれを「土魂（つちくれ）」と名付ける。原始から縄文・弥生、大和朝廷を経て平将門の活躍、将門の系譜を継ぐ江戸太郎重長の出現、太田

道灌の築城、そして家康という稀有の人材を得ての都市開発。これを前史とし、江戸の成立を、造成と治水、防災、大消費都市を支える水運、自治と治安などの観点から検証し、特異な庶民の暮らし、遊興、教育の有様を、千年の時の流れの中で生き生きと語ったものである。

◆ 2310円・四六判・310頁・藍書房・東京・2010/3刊・ISBN978-4-900876-25-5

『アフガン農業支援奮闘記』 ●高橋 修著

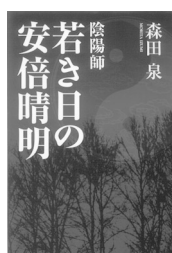


清潔な水と食糧があれば大半の命は救える。NGO ベンチャーワール会（代表中村哲医師）は、アフガニスタンで医療、井戸掘り、灌漑水路開削、そして試験農場の設置へと展開して25年が経過する。本書は、旱魃と戦いで砂漠化したアフガンの大地で農業の復活を手助けする「緑の大地計画」の実践記録である。この農業支援は、じつは著者の高橋氏による綿密な「農業計画」に基づくもの

だった。現地の試験農場で作物の栽培試験を重ね、一定の栽培法を確立してから一般農家に普及するという「現地主義、主役は農家」という考えに貫かれている。その成果として水稲、さつまいも、そば、大豆、飼料作物、緑茶等が普及し、海外援助のあり方の本質がそこに見える。

◆ 2625円・A5判・400頁・石風社・福岡・2010/3刊・ISBN978-4-88344-184-6

『陰陽師 若き日の安倍晴明』 ●森田 泉著



平安時代の最も有名な陰陽師の一人であり、映画や漫画の主人公になるほどのブームを引き起こした安倍晴明。物語は85歳で亡くなったとされる晴明が臨終の床で若き日を回想する場面から始まる。母の里、讃岐の地で幼少期を過ごし、13歳で修行の旅に出る。自分の中の超自然的な力を自覚し、人形（ひとがた）を使う式神の術をマスターし、未来を予言する。藤原純友の乱で、純友

敗北の日を予言し、陰陽師としての地位を確立して、朝廷に仕えるきっかけを作る。のちの妻となる郡司の娘、茜との恋も微笑ましく描かれる。晴明が歴史の表舞台に出るまでを修行の日々や人間関係を中心に豊かな想像力で綴った意欲的な小説。

◆ 1300円・四六判・225頁・リーブル出版・高知・2010/1刊・ISBN978-4-86338-014-1

売行良好書

期間：2010年4月16日～5月15日

〔出荷センター扱い〕※税込み価格

- (1)『新装版 不思議の国のアリス・オリジナル』2100円・書籍情報社
- (2)『なせば成る!』840円・山形大学出版会
- (3)『見る読むわかる野鳥図鑑』840円・日本野鳥の会
- (4)『これから和』1680円・アートヴィレッジ
- (5)『ろう者のトリセツ 聴者のトリセツ』1260円・星湖舎
- (6)『かしこい 家しごと』1470円・ベターホーム出版局
- (7)『ミラクルガール』1575円・無明舎出版
- (8)『自然農・栽培の手引き』2100円・南方新社
- (9)『シベリア抑留 生命の足掻き』1301円・STEP
- (10)『写真記録 筑豊・軍艦島』2100円・弦書房
- (11)『岐阜の山城ベスト50を歩く』1890円・サンライズ出版
- (12)『中学数学 用語と公式 スーパーサポート』1575円・17出版
- (13)『機能不全大家族』1600円・アートヴィレッジ



〔三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書〕※税込み価格

- (1)『東京かわら版 5月号』420円・東京かわら版
- (2)『昭和プロレスマガジン 20』1000円・昭和プロレス研究室
- (3)『北海道いい旅研究室 12』890円・海豹舎
- (4)『生活考察』780円・辻本力
- (5)『円周率 100万桁表』330円・暗黒通信団
- (6)『岐阜の山城ベスト50を歩く』1890円・サンライズ出版
- (7)『浜松の城と合戦』1890円・サンライズ出版
- (8)『とほ 2010 - 2011』420円・とほネットワーク旅人宿の会
- (9)『本屋大賞 2010』580円・本の雑誌社
- (10)『熊井啓への旅』1680円・郷土出版社

〔ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書〕※センター出荷データより/税込み価格

- (1)『本屋大賞 2010』580円・本の雑誌社
- (2)『野宿野郎 7号』500円・野宿野郎編集部
- (3)『円周率 1,000,000桁表』330円・暗黒通信団
- (4)『金瓶梅』1575円・フリースタイル
- (5)『バンコク思い出ごはん』1575円・平安工房
- (6)『新装版 不思議の国のアリス・オリジナル』2100円・書籍情報社
- (7)『アセンションものがたり』1890円・アーバンプロ出版センター
- (8)『砂上の同盟』1260円・沖縄タイムス社
- (9)『光の勢力は集合する』1890円・シェア・ジャパン
- (10)『美々菜彩』1680円・レギー

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。
<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/>

トピックス — ★★


▼ 豆本フェスタ

来る2010年6月12日(土)、浅草橋の東京卸商センターにて、「豆本フェスタ2」というイベントが開催されます。豆本を手作りしているアーティスト100名ほどが集まり、自作の豆本作品を展示即売するというもの。出展者には、紅梅堂の屋号で『書肆ユリイカの本』や『田中栞の古本教室』という冊子を刊行している田中栞さんのほか、小さな本工房、うみうさぎ堂、小さな切手美術館、雲泥流、乙姫湯、大豆書林、てんとうむし新種発明協会、摩天幽谷企画、尻尾団、みつば4円、瓢箪堂、ひよ子等々、名前を見ているだけで笑わずにはいられない謎の面々が、場所:東京卸商センター 東京都台東区柳橋2-1-9 (JR総武線「浅草橋駅」東口徒歩5分/都営浅草線「浅草橋駅」A6出口徒歩3分) 日時:6月12日(土) 11:00~16:00 入場の際はパンフレット(700円)の購入が必要。先着50名の方に「とじ郎倶楽部」特製豆本キット・田中栞「寝ても覚めても豆本づくり」をプレゼントとのこと。また当日は豆本作りのワークショップも開催されます。第1回目は11:00~13:00(受付10:30~)「継ぎ表紙の洋本を作る」(講師:赤井都)、第2回目は14:00~16:00(受付13:30~)「布表紙の洋本を作る」(講師:田中栞)。このワークショップは参加費5000円(材料費込み)で道具貸与、要予約。電話090-9590-2585かeメール workshop@mamefes.infoまで。

郵便販売のご注文方法

- ◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。
 - ◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3~4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。
 - ◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。
- ★地方・小出版流通センター
 FAX: 03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



三省堂書店

BOOKS SANSEIDO

神保町本店 4階
地方出版・小出版物フロア

営業時間 10:00 AM ~ 8:00 PM
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
 TEL. 03-3233-3312(代)
 URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

**営業の
ごあんない**

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。

